

スズメの役割

香芝市立香芝西中学校 三年 太田 圭亮

あなたの周りで、鳥の鳴き声が聞こえることはありますか。おそらく、毎朝数種類の鳴き声があるあなたの耳に届いていることでしょう。その中でも特に耳になじんでいるのがこのスズメの声だと思います。ウグイスの声のような存在感はありませんが、スズメは日本では一年中いるため、身近な鳥の代表として思い浮かべやすいのかもしれませんが。

しかし現在、そんなスズメたちも減少していると最近の新聞記事に載っていました。要因の一つとして大きいのが、巣を作る場所が減っていることらしいです。もちろん、数が減っているのはスズメだけではありません。他にも多くの種類の野鳥が減少しています。

僕は日本の野鳥が好きです。単に可愛いことや鳴き声を聞いていても飽きないこと、そして色の地味な種類が多い日本の野鳥が懸命に生きている姿を見て、自分も勇気がもらえることなどが理由として挙げられます。僕はそんな癒しの対象である野鳥が減少しているという事実を残念に思っています。しかも、野鳥が減少する原因の多くは人間の行動が関わっています。実際に、人間による狩猟や開発により、多くの野鳥が姿を消したり、絶滅の寸前へ至ったりしてきました。最も身近な鳥として数えられるスズメでさえ、数を減らしているのですから、日本の生態系は安定しているとは言えないのではないのでしょうか。

ところで、スズメは稲を食べるため、昔から害鳥として扱われがちです。また、僕が普段生活する中でも、ただうるさいという理由だけで追い払おうとする人も見かけます。では、もしスズメたちがいなくなれば、生態系はどのように変化するのでしょうか。

実際に、一九五〇年代には、中国で大規模なスズメの駆除が行われました。そしてたくさんのスズメが駆除された結果、中国は大規模な飢饉になってしまいました。実は、スズメは稲を食べる以上に、多くの害虫を捕食していたのです。スズメが駆除され、天敵のいなくなった害虫が大発生したことが原因で作物の不作が起きたそうです。

僕ら人間からすると、このスズメは小さな種や小さな虫を食べる小さな生物です。しかし、そんな小さな生物の、たくさんの小さな行動によって生態系が初めて成り立つのだと、僕はこの事実を知って感じました。

現在の日本では、多くの野鳥が減少傾向にあります。この中国の実話から考えると、今の日本はスズメだけでなく、その他多くの鳥も減少しているため、これからの生態系のことを思うと、不安でいっぱいです。

だから、今の日本の生態系は改善されるべきです。例えば、空き地や廃墟などの使われていない土地で農業をしてはどうでしょうか。一つの建物よりも一つの畑の方が、絶対にもともとの生態系に近い環境を作り出せるはずです。

また、野鳥の生活する環境を守ることも重要です。森林を守るために無駄な開発をしないということはもちろん、野鳥の繁殖地である干潟や湿地帯、自然の海岸などを守っていくことや人が極力入れないような仕組みを作ることが大切だと思います。

鳥類だけでなく様々な生物が、日本に限らず世界中に存在しています。たとえ害虫と呼ばれる存在を人間が排除してしまうだけでも、それらの捕食者はやがて減少し、絶滅してしまい、生態系は崩壊してしまうでしょう。この世には消えてしまうべき生物などは絶対にいません。

しかし、人間は数多くの生物を絶滅させてきました。でも、今さら後悔しても仕方がないことです。それならば、人々がこれまでの生態系を壊してきた分、これからの生態系を安定させ、守っていくことが私たち人間がすべきことなのではないのでしょうか。